

科目名	SES150: プレ・ゼミナール					担当教員	岩崎 明子
開講期	秋	開講時限	水4限	研究室	4213	オフィスアワー	火3・4限、木3限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	連絡先	
キーワード	グローバル問題、グローバル・リテラシー、英語読解力・発信力の育成						
授業の概要	<p>「国際対話能力」の基礎となるのが「教養」といわれる。国際化の時代に、英語だけでなく、相手の文化（異文化）理解能力が欠かせない。つまり、相手とよく対話するために、その人の国の文化的基礎、すなわち、宗教、習慣、歴史、言語、芸術を理解することに他ならない。現地に行って経験するだけでなく、それ以前に読書等により、その国の言語、文化、宗教、歴史背景を本質的に理解し、「知識」とすることが大切である。また、同時に自分の文化や言語の特性を良く理解することが、自らの「アイデンティティー」の確信や、相手に伝える内容の確実な準備となる。</p> <p>この授業では、グローバル・リテラシーの能力を言語面と国際問題（グローバル問題）に焦点を当てて学習していく。グローバル問題は、各国の人々が地球全体の問題として緊急に解決しなければならない問題である。グローバル問題を理解するためには、様々な事柄が関連する背景知識を教養として知る必要がある。また、問題の解決のために、共通言語（英語）を使用して人々と話し合い協力していく場所では、各自の問題意識の表明が欠かせないのである。以上の事を踏まえ、このプレゼミでは、英語で聞き、話し、読み、書きの4技能を磨きながら、興味ある研究課題をグループで探し、調べ、発表する、共同研究の方法で学習を進めていく。</p>						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標】 グローバル問題を題材にしなが、問題意識を高め、研究課題の調査・まとめ・発表の共同研究を行う。</p> <p>【到達目標】 ①テキストに基づき、グローバル問題に関するグループ研究を行い、問題を分析し考察する力を養う。 ②英語文献を読み、英語のニュースを聴く力をつけるとともに、意見を話す、書くの発信力につなげる。 ③共同研究を通し、資料のリサーチ方法や文書のまとめ方、発表方法を学ぶ。</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法】 討論へ参画（30%）[日本語 20%、英語 5%]、英文講読（25%）、研究発表(30%) [日本語 25%、英語 5%]、期末レポート（15%）</p> <p>【評価基準】 * 討論への参画：研究発表に対し、課題を論理的に批判的に討議できている。各回にコメントシートに記入。 * 英語文献の講読：英語文献の内容を的確に把握できている。問題意識をもっている。 * 研究発表：テキストの内容を理解し、文献調査や、レジメの作成などが的確である。パワーポイントを使用し英語で研究の要約説明ができる。 * 期末レポートは教科書で扱ったテーマから選び小論文形式で2000字前後にまとめる。</p>						
学位授与の方針と評価指標	(2) 地球市民としての人格が形成されていること (詳細は P.71 を参照のこと)						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	グローバル・リテラシーと グローバル問題、サステナビリティとは	講義・討議 グループ決め	教科書・プリントを読む
2	共同研究の理論と方法	講義・討議	プリント
3	グループ研究報告と討論（1） —環境問題とその解決—	グループ発表、相互 批評、討議	発表準備.Ut.2 地球温暖化、
4	グループ研究報告と討論（2） —人口問題—	グループ発表、相互 批評、討議	発表準備.Ut.3 飲料水の確保、 Ut.5 病との戦い

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
5	グループ研究報告と討論（3） —生活の質を高めるには？—	グループ発表、相互 批評、討議	発表準備 Ut.1 教育とジェンダ ー
6	グループ研究報告と討論（4） —国際協力、エンパワーメント、NGO	グループ発表、相互 批評、討議	発表準備.Ut.4 貧困と飢餓 Ut.14 国際赤十字活動
7	グループ研究報告と討議（5） —経済格差とテロリズム	グループ発表、相互 批評、討議	発表準備 Ut.6 テロリズム
8	平和と紛争の問題（1） —兵器によって紛争は防げるか—	PP グループ発表、質 疑応答、討議	テキストの購読、意見準備 Ut.8 核兵器、Ut.10 地雷撤去
9	平和と紛争の問題（2） —なぜ大量虐殺は起こったのか—	PP グループ発表、質 疑応答、討議	テキストの購読、意見準備 Ut. 9 カンボジア大量虐殺
10	平和と紛争の問題（3） —難民問題を解決するには—	PP グループ発表、質 疑応答、討議	テキストの購読、意見準備 Ut.11 難民
11	平和と紛争の問題（4） —平和のために非暴力で戦った人々のその 人生の意義とは—	PP グループ発表、質 疑応答、討議	テキストの購読、意見準備 Ut.12 マンデラ、Ut.13 アウン・サ ン・スー・チー
12	女性と戦争のビデオ視聴 —平和における女性の役割とは—	グループ発表、討議	テキストの購読
13	2年生のゼミ論発表への参加	討議	質問の準備
14	2年生のゼミ論発表への参加	討議	質問の準備
15	2年生のゼミ論発表への参加	討議	質問の準備

テキスト	Global Issues Towards Peace –DVD で学ぶ共存社会—グローバル時代を考える（南雲堂）
参考書	『国際学のすすめ—グローバル時代を生きる人のために』東海大学出版会 2008 年
その他 特記事項	ゼミ生にはグローバルな動きに関心を寄せ、問題意識を高めることを望む。 ゼミの討議への積極的な参加